

県営土地改良事業木曽池地区によって造成される施設の予定管理方法

(1) 管理者 多賀町

(2) 管理すべき施設の種類

① 堤体工

名 称	規 模 ・ 構 造
堤 体 工	中池：堤高 6.4m、堤長 74.7m、堤頂幅 3.3m、法面勾配 1:1.9 下池：堤高 3.4m、堤長 64.1m、堤頂幅 2.0m、法面勾配 1:1.8
法面保護工	上流 張りブロック、下流 張芝
耐震対策工	上流 傾斜遮水ゾーン型、下流 法面整形

② 洪水吐工

名 称	規 模 ・ 構 造
洪水吐工	形式：水路放流型

③ 取水施設工

名 称	規 模 ・ 構 造
取水工	取水施設兼緊急放流施設 斜樋型 ステンレス製鋳鉄製斜樋バルブ 1 孔 ϕ 200 底 樋 HP ϕ 800 (鉄筋コンクリート構造)

(3) 貯水、放流、取水又は排水に関する基本的事項

名 称	取 水 時 期	取 水 量	方 法 等
木曽池	4 月～9 月	代掻期 130 mm/day 普通期 30.5 mm/day	木曽区(木曽営農組合)が必要に応じて取水を行う

(4) 管理に要する費用の概算およびその負担の方法

① 管理に必要な標準年間経費

施設の種類	個所数	年間標準経費(概算)	耐用年数	左記期間の概算経費	備考
ため池	2	651 千円	50 年	32,550 千円	

② 負担の方法および反当負担額

施設の種類	負担の方法および負担計	反当負担額		備考
		負担面積	平均反当負担額	
ため池	受益者の地積割	16.0ha	0 円	